

パソコン変更時のデータや各種設定内容の移行について

文書管理番号：1125-03

Q. 質問

パソコンを変更するので、A's（エース）で作成したデータや各種設定内容を移行したい。

A. 回答

A's（エース）を使用するパソコンを変更する場合、これまで使用していたパソコンで作成した物件・図面・プレゼンボードなどのデータや変更している各種設定内容をそのまま使用するには、各データの移行作業が必要です。

データや設定環境をまとめて移行する場合

A's（エース）で作成したデータや各種設定内容は、保存場所を変更していない場合、A's（エース）のインストールフォルダー内に保存されています。

データや各種設定内容は個別に移行できますが、これまで使用していたパソコンの A's（エース）のインストールフォルダーを、フォルダーごと新しいパソコンにコピーすることで、データや各種設定内容をまとめて移行することができます。

新しいパソコンにコピーした後に、コピーしたフォルダーに対して A's（エース）をインストールすると、これまで使用していたパソコンと同じ状態にすることができます。

【注意】

A's（エース）をインストール後にフォルダーを上書きしてしまうと、正常に動作しなくなるため、必ず以前使用していたパソコンのインストールフォルダーをコピー後に、A's（エース）をインストールしてください。

A's（エース）のインストールフォルダーをコピーして移行するには、容量が大きな媒体（USB メモリや外付けハードディスクなど）が必要です。

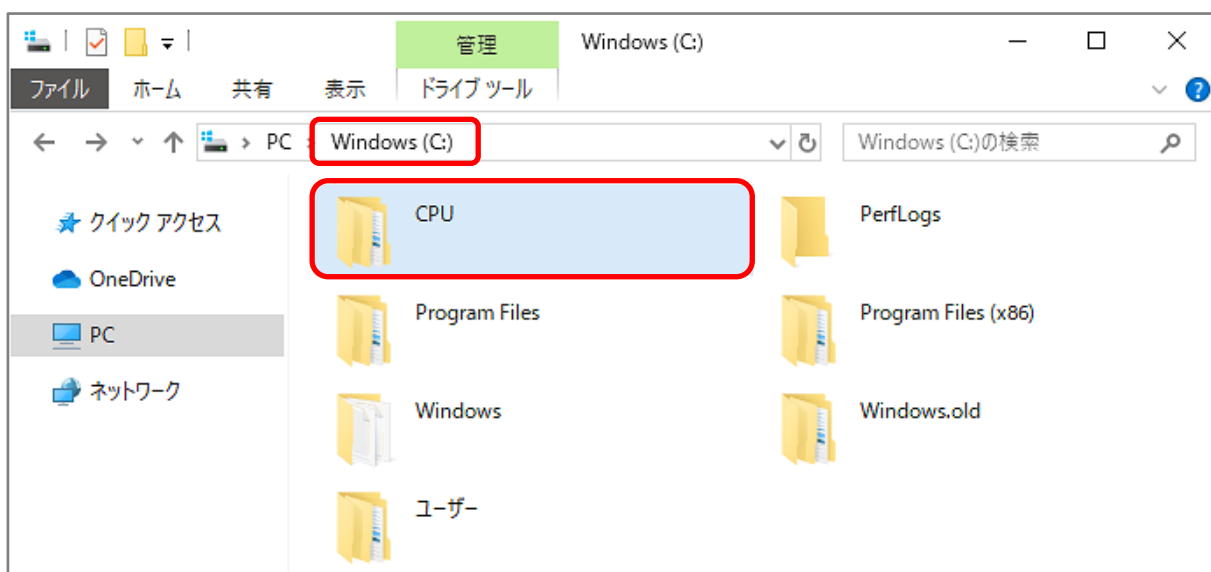
- * 必要な容量は、作成している物件データのサイズにもよりますが、30～40GB 程度の空き容量がある媒体をご用意ください。

A's（エース）のインストールフォルダーは、インストールドライブを変更していない場合、

Cドライブ ⇒ 「CPU」フォルダー ⇒ 「A's」フォルダー

です。

- * 下記は、初期の設定のままでCドライブにA's（エース）をインストールしている場合です。



エクスプローラを使用して、A's（エース）をインストールしているドライブ内の「CPU」フォルダーを、フォルダーごと USB メモリなどの媒体にコピーしてください。

- * コピーする容量が大きいので、コピーには一定の時間がかかります。表示される時間を目安にしてください。

媒体にコピーした「CPU」フォルダーを、新しいパソコンのA'sをインストールするドライブの直下にコピーし、コピー後にA's（エース）のインストールを行います。

- * A's（エース）のインストールは、「CPU」フォルダーをコピーしたドライブに対して行ってください。

A's（エース）のインストール手順については、次のURL（Webアドレス）をクリックしてダウンロードサイトにアクセスし、表示されたページの手順をご覧ください。

<https://www.cpu-net.co.jp/as-dl/>

A's (エース) のダウンロードサイトには、弊社ホームページからもアクセスできます。

弊社ホームページから A's (エース) のダウンロードサイトへアクセスする手順については、こちらをご覧ください。

[\[1001\] A's \(エース\) のインストール方法](#)

【注意】

データや設定環境をまとめて移行する際に、A's (エース) のインストールドライブが、移行元（これまで使用していたパソコン）と、移行先（新しいパソコン）で異なる場合は、新しいパソコンに A's (エース) をインストール後、設定の変更が必要です。

<インストールドライブが異なる場合>

例) 移行元（これまで使用していたパソコン）では、A's (エース) を C ドライブにインストールしていたが、移行先（新しいパソコン）では、A's (エース) を D ドライブにインストールして使用する場合など

インストールドライブが異なる場合の A's (エース) インストール後の設定変更については、P.5 からの「参考」をご覧ください。

データや設定環境を個別に移行する場合

A's（エース）で作成した各データや各種設定内容などは、所定の手順によって、個別に別のパソコンに移行することができます。

物件データや各種設定内容などを個別に移行する場合は、こちらをご覧ください。

- 「物件管理」で作成・管理している物件データ

- [\[1024\] 別パソコンで作成した物件データの使用方法【物件管理】](#)

- [\[1124\] 別パソコンへの物件データの移行方法【物件管理】](#)

- 「物件選択」で作成・管理している物件データ

- [\[1025\] 別パソコンで作成した物件データの使用方法【物件選択】](#)

- * 「物件管理」と「物件選択」の違いやそれぞれの特長については、こちらをご覧ください。

- [\[1113\] 物件管理と物件選択の違いについて](#)

- 追加登録した各種データや変更した設定内容

- [\[1093\] マスターインポートエクスポートツールの利用](#)

図面やプレゼンボードのデータの初期保存先は、A's（エース）のインストールフォルダー内の以下のフォルダーとなっています。

保存先を変更している場合は、各保存先から所定のファイルやフォルダーを移行してください。

- 図面編集で作成・保存した図面データ（zcd ファイル）

- 「¥CPU¥A's」フォルダー

- 図面一括で作成・保存した図面データ（zcd、jww ファイルなど）

- 「¥CPU¥A's¥作成図面¥各物件名」フォルダー

- 図面マネージャで作成・保存した図書データ一式

- 「¥CPU¥A's¥作成図面¥図面マネージャ」フォルダー

- プレゼンボードのデータ（dmt ファイル）

- 「¥CPU¥A's¥DATA」フォルダー


参考：インストールドライブが異なる場合の A's（エース）移行後の設定変更


P.1～2の「データや環境設定をまとめて移行する場合」の操作方法で移行する際に、A's（エース）のインストールドライブが、移行元（これまで使用していたパソコン）と、移行先（新しいパソコン）で異なる場合は、新しいパソコンに A's（エース）をインストール後に、下記の手順で設定の変更を行ってください。

- * インストールドライブが異なる場合とは、例えば、移行元（これまで使用していたパソコン）では、A's（エース）を C ドライブにインストールしていたが、移行先（新しいパソコン）では、A's（エース）を D ドライブにインストールして使用する場合などが該当します。


新しいパソコンに A's（エース）をインストール後、データや設定環境を個別に移行された場合は、以下の作業は必要ありません。

● 物件管理の保存・読込先の変更

 (物件管理)での顧客・プランデータの保存・読込先を、インストールドライブに合わせて変更します。変更作業は、A's（エース）を起動していない状態で行ってください。

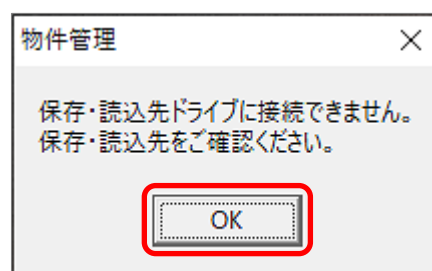
① デスクトップの  (A's (エース)) をダブルクリック

- * 「A's（エース）」グループの画面が表示されます。

②  (A's (エース)) をダブルクリック

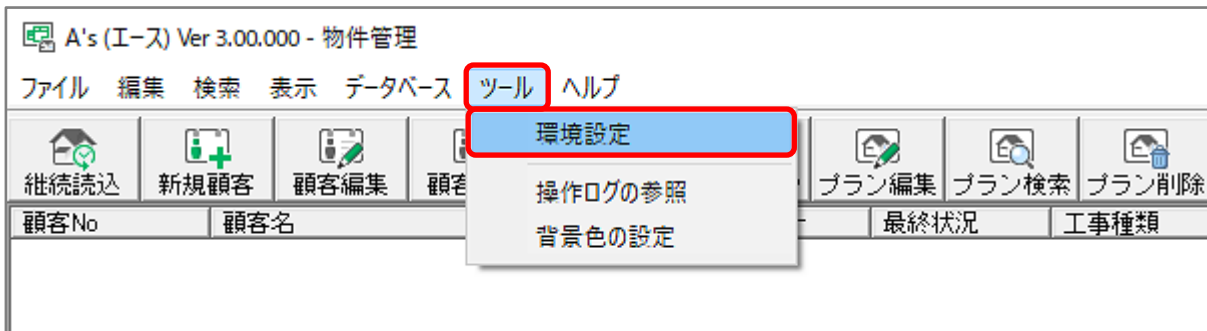
- * 物件管理の画面が開きます。

- * 移行元（これまで使用していたパソコン）で A's（エース）をインストールしていたドライブが、移行先（新しいパソコン）にない場合は、「保存・読込先ドライブに接続できません。保存・読込先をご確認ください。」とメッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、環境設定の保存・読込先設定画面が直接開きますので、P.6 操作④から続けてください。

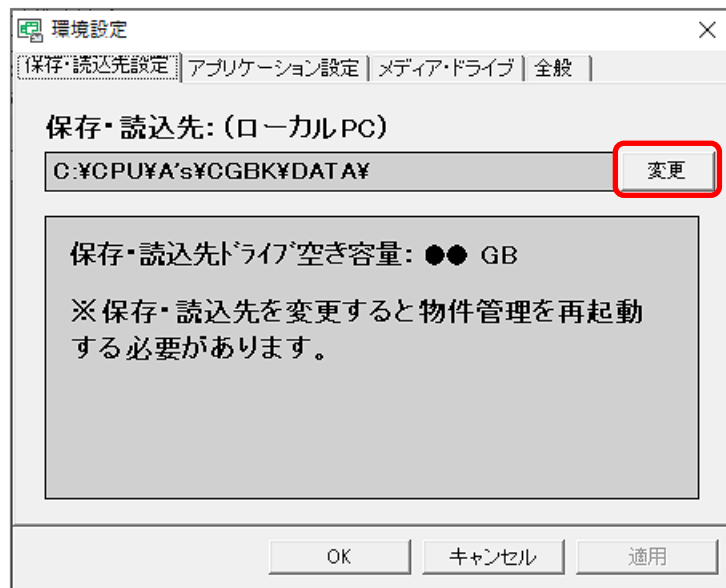
③ 「ツール」⇒「環境設定」をクリック



* 環境設定の画面が開きます。

④ 「保存・読込先設定」タブで、「変更」をクリック

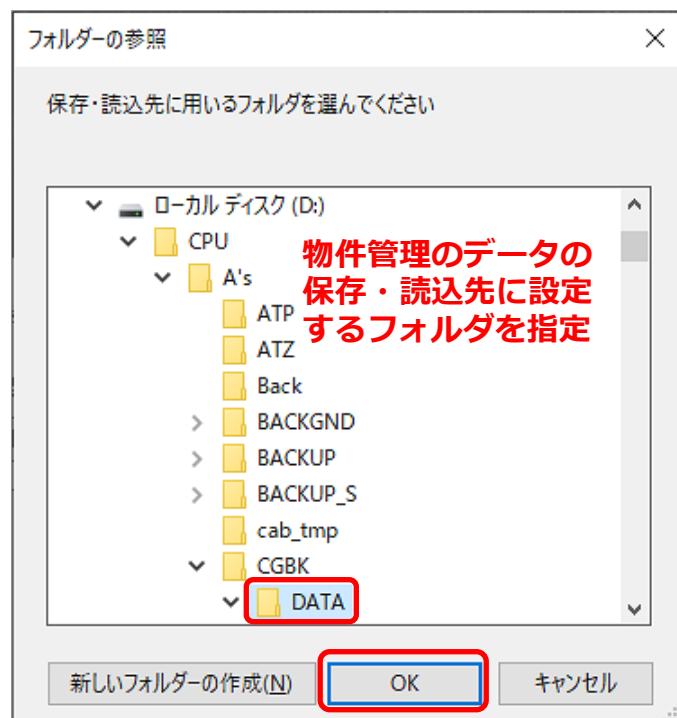
* フォルダの参照の画面が開きます。



⑤ 物件管理のデータの保存・読込先に設定するフォルダを指定

* 物件管理のデータの保存・読込先の初期値は、インストールドライブの「CPU」フォルダ⇒「A's」フォルダ⇒「CGBK」フォルダ⇒「DATA」フォルダとなっています。ドライブはインストール先に合わせて選択してください。

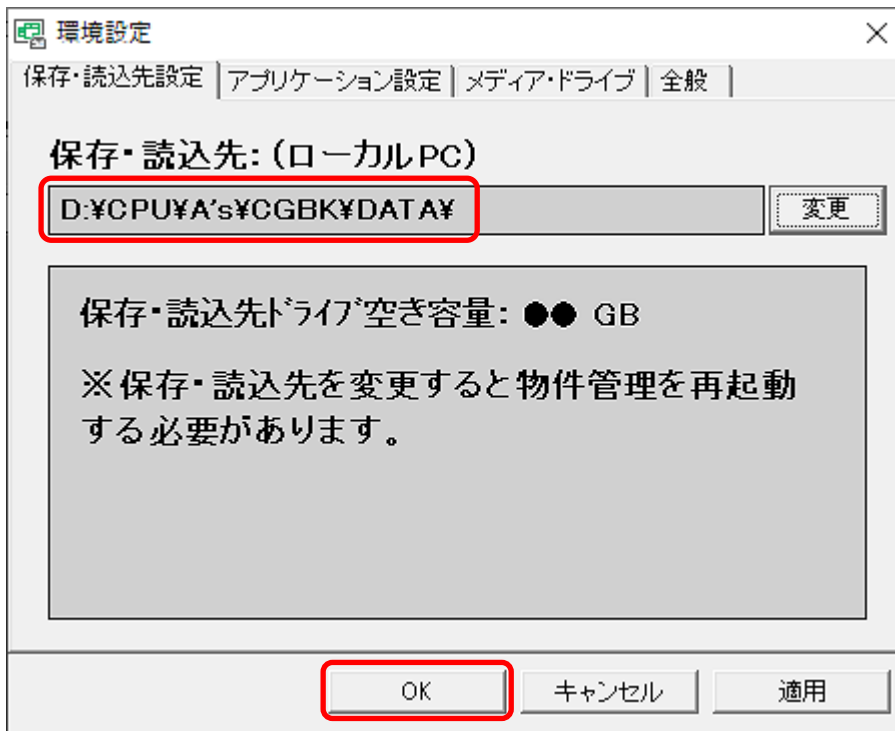
例えば、DドライブにA's（エース）をインストールした場合は、「D:\CPU\A's\CGBK\DATA」フォルダを指定します。



⑥ 「OK」をクリック

* 環境設定の画面に戻ります。

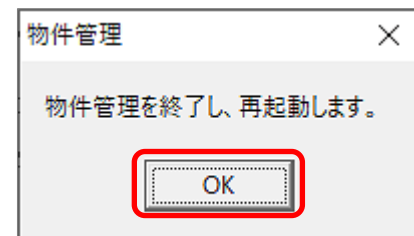
⑦ 「保存・読込先」の内容が変更されていることを確認し、「OK」をクリック



* メッセージが表示されます。


⑧ 「OK」をクリック

* 物件管理が再起動します。再起動後、これまで使用していたパソコンで作成した顧客・プランデータが表示されます。




● 各種図面の詳細図 (SHO) ファイルの保存先初期値の変更

各種図面の詳細図 (SHO) ファイルの保存先の初期値を、インストールドライブに合わせて変更します。

- ① デスクトップの  (A's (エース)) をダブルクリック

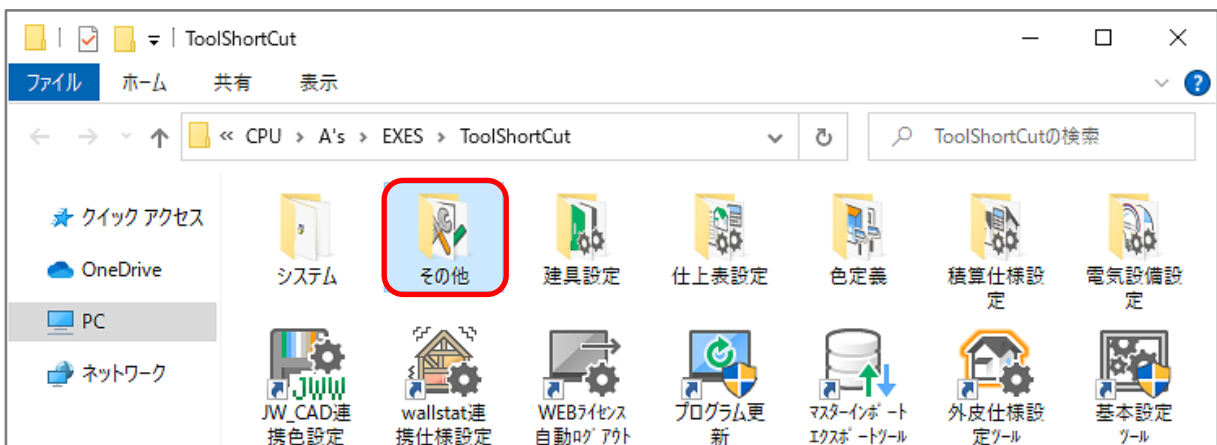
* 「A's (エース)」グループの画面が表示されます。

- ②  (各種ツール) をダブルクリック




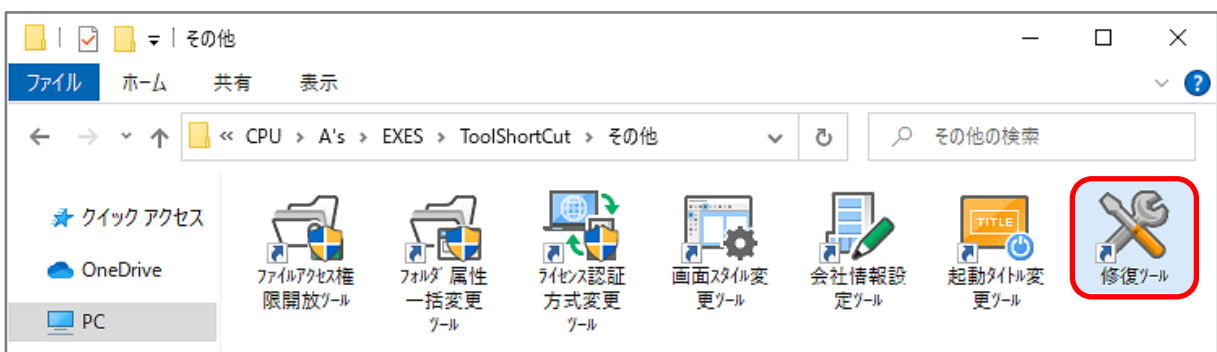
* 「各種ツール」グループの画面が表示されます。

- ③ 「その他」フォルダーをダブルクリック



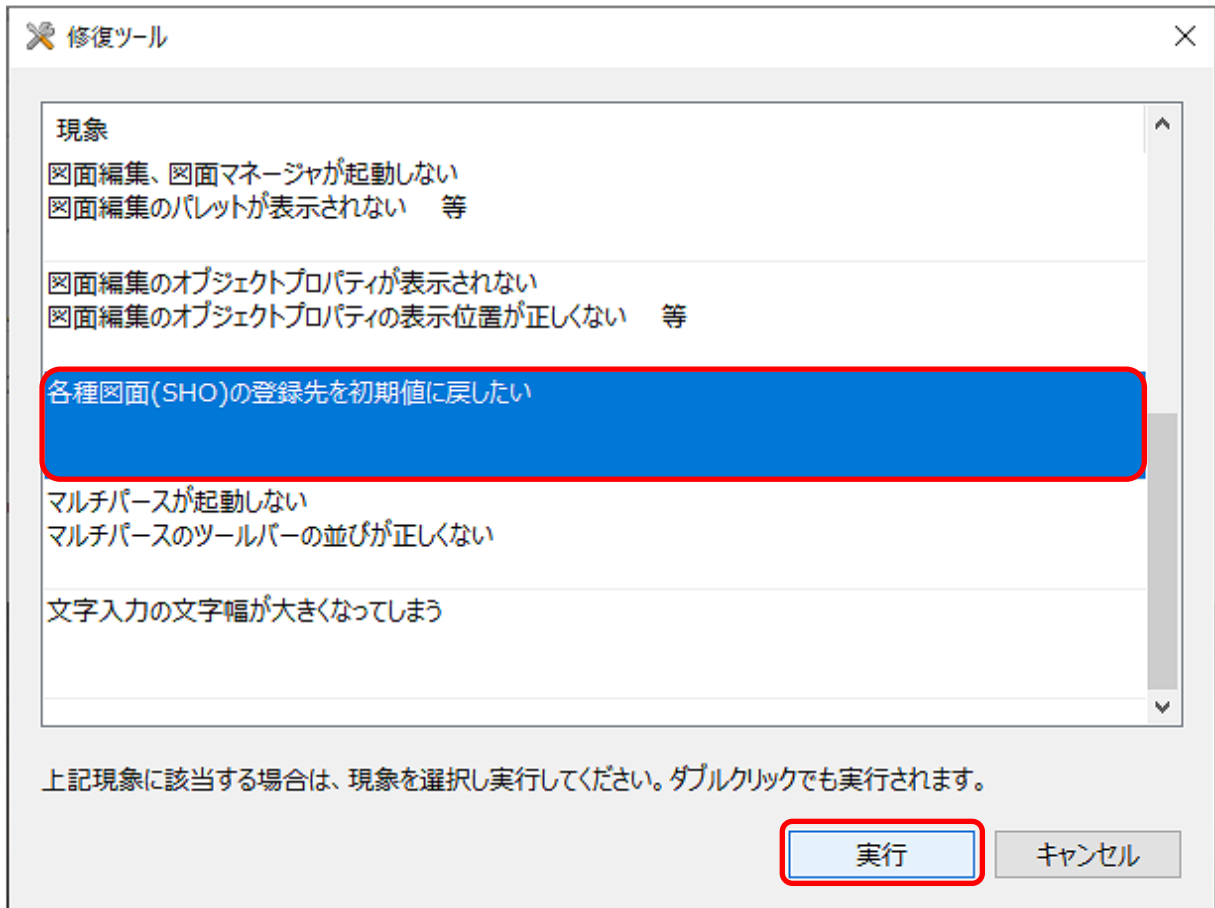
* 「その他」グループの画面が表示されます。

- ④  (修復ツール) をダブルクリック



* 修復ツールの画面が表示されます。

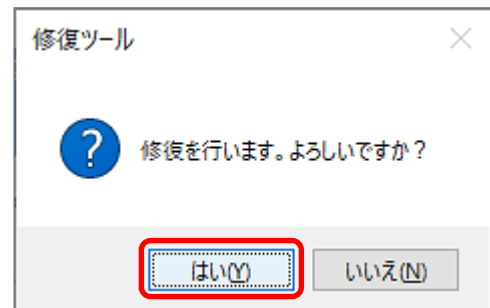
- ⑤ 現象から「各種図面(SHO)の登録先を初期値に戻したい」を選択し、「実行」をクリック



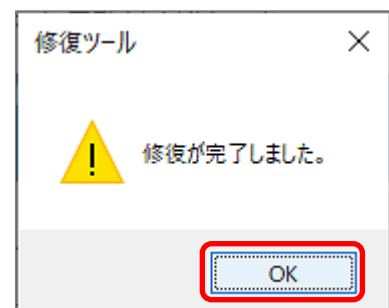
- * 「修復を行います。よろしいですか?」とメッセージが表示されます。

- ⑥ 「はい」をクリック

- * 「修復が完了しました。」とメッセージが表示されます。



- ⑦ 「OK」をクリック



- ⑧ 修復ツールの画面を「キャンセル」または右上の「×」で閉じる

- **デザイナーのプレゼンボードのパス設定**



(デザイナー)のプレゼンボードの各種フォルダーのパス設定を、A's (エース) やデザイナーのインストールフォルダーに設定します。

デザイナーのプレゼンボードのパス設定については、こちらをご覧ください。

[\[1155\] プレゼンボードの各種フォルダーの設定について](#)